

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、27～30 台を示し、かなり高めでした。

## 〔漁況概要〕

中小型まき網---西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の50%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり1トンの水揚げ（前年を下回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週の67%（前年を下回った）。

イカ釣----スルメイカは壱岐勝本地区では、1日当たり8kgの水揚げで、前週の28%（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり14kgの水揚げで、前週の78%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり221kgの水揚げで、前週の1.5倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり54kgの水揚げで、前週の1.8倍（前年を上回った）。

定置網----対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり49kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ブリなどが1日1統当たり777kgの水揚げ。

一本釣----北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり43kgの水揚げで、前週の2.2倍（前年を下回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（7/25～7/30の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、能登半島沖で操業。赤イカは北太平洋で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、2日延10隻、総計168箱、1航海最高30箱、平均16.8箱。

スルメイカ（20～40入・バラ）98箱、ケンサキイカ（2～4立）70箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>